

令和元年度 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の取組状況について

資料4

行動目標 I 未然防止への取組

【4段階評価】 4：できた 3：おおむねできた 2：やや課題がある 1：課題がある

実践目標1 互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくり

※新型コロナウイルス感染症予防に係る諸対策により変更の可能性あり

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
すべての児童生徒が参加・活躍できる「わかる授業」づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一人一人の考えを認める協同的探究学習に基づき、児童生徒が活躍する授業実践に取り組むことができた。</li> <li>●一人一人が活躍できる授業実践により、主体的な学ぼうとする態度の育成につなげることができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●研究発表会や授業アイデア集の活用を通して、さらなる授業力の向上、質の高い授業づくりに取り組む。</li> </ul>
「居場所づくり」「絆づくり」を重視した学校づくりを支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童会・生徒会による異学年交流活動や小・中学校合同あいさつ運動、友だちの良いところ見つけなど、多くの人と触れ合い活動が充実した。</li> <li>●目標に向かって、学級や学校全体で一致団結して取り組む児童会・生徒会活動が充実した。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>【取組内容の改訂】</li> <li>「居場所づくり」「絆づくり」を重視した学級・学校づくりを支援</li> <li>●特色ある取組を共有し、各校における活動のさらなる充実を図る。</li> </ul>
「自己有用感」を育む学校づくりを支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●互いのよいところを見つけあう活動などを通して、児童生徒が仲間から認められる喜びを感じることができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>【取組内容の改訂】</li> <li>「自己有用感」を育む学級・学校づくりを支援</li> <li>●特色ある取組を共有し、各校における活動のさらなる充実を図る。</li> </ul>
「心の絆プロジェクト」を通して、子どもたちの主体的な活動を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主体的に活動に取り組むことで、多くの児童生徒が達成感を感じることができた。</li> <li>●児童会・生徒会代表者ミーティングにおける情報交換で他校の取組を知るとともに、自分たちでできると考えることができた。</li> <li>●新たな取組を知り、児童会・生徒会役員が主体的に取り組めるようになってきた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各校において特色ある取組を進めていくとともに、取組内容を共有し、一層の充実を図る。</li> </ul>

実践目標2 命や人権を尊重し、豊かな心を育てる

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感性に訴える人権教育に取り組み、科学的認識と人権感覚を育む指導の両立に取り組んだ。</li> <li>●人権参観日にいじめ問題等を取りあげる等、親子で「人を大切に作る心」について考えることができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己肯定感を育む人権教育のさらなる充実を図るとともに、小中学校が連携した人権教育の充実を図る。</li> </ul>
道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳の授業や体験活動を通して、生命の尊さを実感することができた。</li> <li>●道徳の授業において、「友情・信頼」「規範意識」など、様々な内容項目について多面的に考えることを通して、一人一人の考えを尊重する態度の育成を図ることができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実感を伴う体験活動と関連付けた道徳の授業の充実を図る。</li> <li>●SNS等、情報モラルに関する題材を扱った道徳の時間のさらなる充実を図る。</li> </ul>

実践目標3 家庭や地域への働きかけ

取組内容	結果・効果	評価	次年度展開
ユニット12による地域連携と見守り活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●尾上町子どもの見守りネットワーク会議を開催した。</li> <li>●中学校区での見守り活動を実施している関係団体への情報共有ができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校運営協議会を地域の实情に応じて順次設置し、地域と連携した取組の充実を図る。</li> </ul>
いじめ防止啓発月間（9月）に関する取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2回いじめ防止市民フォーラムを令和元年9月1日に開催した。（学校関係者をはじめ、PTA、民生児童委員、少年輔導委員等約600名が参加）</li> <li>●参加者には生徒会・児童会代表者ミーティングの取組を周知し、いじめ問題の認識が高まった。</li> <li>●小中学校において、児童会・生徒会代表者から児童・生徒へ周知し、いじめ問題の認識が高まった。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめ防止啓発ポスターや横断幕を有効に活用するとともに、各校において児童生徒が主体的に実施するいじめ防止に関する特色ある取組を充実させる。</li> </ul>
いじめ防止、子どものSOS発見等の啓発チラシの配付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「子どものSOS発見等の啓発チラシ」及び「子どものSOS発見チェックリスト」を保護者に配付し啓発することで、児童・生徒及び保護者からの相談につながった。</li> <li>●いじめ防止啓発チラシ「いじめをしない、させない、見逃さない！」を全児童生徒に配付して、児童・生徒同士及び家庭においていじめの早期発見・早期対応の意識向上を図るとともに、相談窓口を周知した。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>【取組内容の改訂】</li> <li>「いじめ防止、子どものSOS発見チェックリスト等の啓発チラシの配付」</li> <li>●引き続き実施する。</li> </ul>
広報誌やホームページを活用した情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価検証委員会の実施状況を市ホームページに掲載し、家庭や地域へ情報提供ができた。</li> <li>●全学校においていじめ防止全体計画および年間計画のホームページへの掲載ができた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校単位での保護者、地域への周知を図る。</li> <li>●オープンスクール、参観日等を活用し、積極的に周知を図る。</li> </ul>
保護者への相談、支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育相談センター内の心理士を4名体制【前年度比1名増】とし、初回相談までの待機日数を短縮した。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>【取組内容の改訂】</li> <li>行動目標「早期発見・早期対応への取組」の実践目標3へ移動し、「保護者からの相談に対する支援のための取組の充実」として実施する。</li> </ul>